

平成19年 2月6日

一宮町町長
近藤 直様

ICHINOMIYA PUBLIC SERVICE ACADEMY
(一宮パブリック・サービス・アカデミー)
世話人代表 馬淵 昌也

「合併問題に関する町長の意見を伺う一宮町民の会」へのご参加のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、先般の新聞報道によりますと、近藤様が会長でいらっしゃる「長生郡市合併協議準備会」において、新市合併の骨格となる「合併基本構想素案」がまとめられたということでした。今後は、各市町村における法定協議会の立ち上げ、及びそこでの協議を経て、合併へと進みゆくこととなるかと存じます。近藤様の、会長としてのお立場でのご努力が実りつつあることを、一町民として、お喜び申し上げたく存じます。

ただ、今般の「長生郡市合併協議準備会」における決定事項は、先に破綻した法定協議会での合意の形とは大きく異なったものとなったと承っております。また、「長生郡市合併協議準備会」を三度にわたってお開きになられたこと、更に議員の皆様に対する説明会も開催なされたことなども承っておりますが、準備会での協議結果の詳細、或いはまたなぜ前回の合意の形とは大きく異なったものとなったのか、等につきましては、私ども一般町民は、現在までのところ、その経緯について承る機会を得られておりません。「長生郡市合併協議準備会」は、あくまで首長の方々、および議会議長の方々を中心とする、私的な会合であるとの姿勢を堅持されたと承っております。そこで、近藤様には、恐らく、今後の町議会での法定協議会の立ち上げをめぐる審議、及びその後の、法定協議会での協議の段階で、町民に正式に説明を行うことこそ、行政の最高責任者として、必要かつ十分な手続きであるとお考えでいらっしゃるかと度々申し上げます。ただ、私ども一般町民と致しましては、議会での審議の傍聴、或いは協議会の協議の傍聴ともに、事実上人数ほかの制約もあり、その場では、十分に町民の立場から、近藤様の合併についてのお考えを伺うことができません。

そこで、私ども、町民有志で作りました「ICHINOMIYA PUBLIC SERVICE ACADEMY」(別添の企画書に、本会の簡略な紹介と、世話人の氏名とを記してございます)と致しましては、三月初めに議会での法定協議会立ち上げの審議が始まります前に、是非とも、私ども一般町民が直接近藤様のお考えを伺うことのできる機会を頂戴致したいと考え、ここに、「合併問題に関する町長の意見を伺う一宮町民の会」の開催を企画申し上げた次第でございます。そして、近藤様に同会へおいで頂き、私ども一般町民のために、合併についてのお考えを存分にご開陳頂きたく、ここにご参加をお願い申し上げます。

合併と新市誕生は、一宮町民にとりましては、百年に一度の大事であろうかと存じます。近藤様には、まさしく公務ご多忙中とは存じますが、なにとぞ、わたくしども一般町民の切なる思いをお聞き届け頂き、ご来臨賜りますよう、伏してお願い申し上げます。

以上

(なお、企画の詳細につきましては、別添の企画書をご覧くださいようお願い申し上げます。)